





さらなる発展と 永続性のために…

当社は1960年に創業し、港湾荷役、構内請負作業、海陸一貫輸送を軸に、多様化する社会やお客様のニーズにお応えしながら、大分臨海工業地帯の発展とともに成長を遂げてきました。

社会や経済が大きく変化する中、当社グループが今後も成長していくためには、「安全」「品質」「信用」を基軸に、高品質な物流サービスを提供し、今以上に現場力の向上を図ることが不可欠と言えます。「知恵を絞り挑戦する姿勢」を大事にステークホルダーの皆様へ報いるとともに、豊かな社会の実現に向けて邁進していきます。

また当社は創業以来「地域社会への貢献」を経営方針に掲げ、地域からの信頼を得てきました。これからも地域との共生が企業の成長に繋がると信じ、持続可能な社会の実現を目指していきます。そして、皆様に頼りにされる企業であると同時に、人を大切にするグループ企業でありたいと願っています。

代表取締役社長

足田 功道

会社概要

名 称 鶴崎海陸運輸株式会社
創 立 昭和35年4月
資本金 8,000万円
所在地 〒870-0196
大分市大字三佐1000番地
売上高 187億円(2022年度)
従業員 735名(2023年1月1日現在)

[役 員]

代表取締役会長 疋田智昭
代表取締役社長 疋田功道
専務取締役 野尻裕明
常務取締役 久保田尚伸

取締役 池田富士生
瀧口一之
清田一裕
吉良賢浩
前谷義幸
疋田港
上野順治
得松令

監査役 秦野真郎

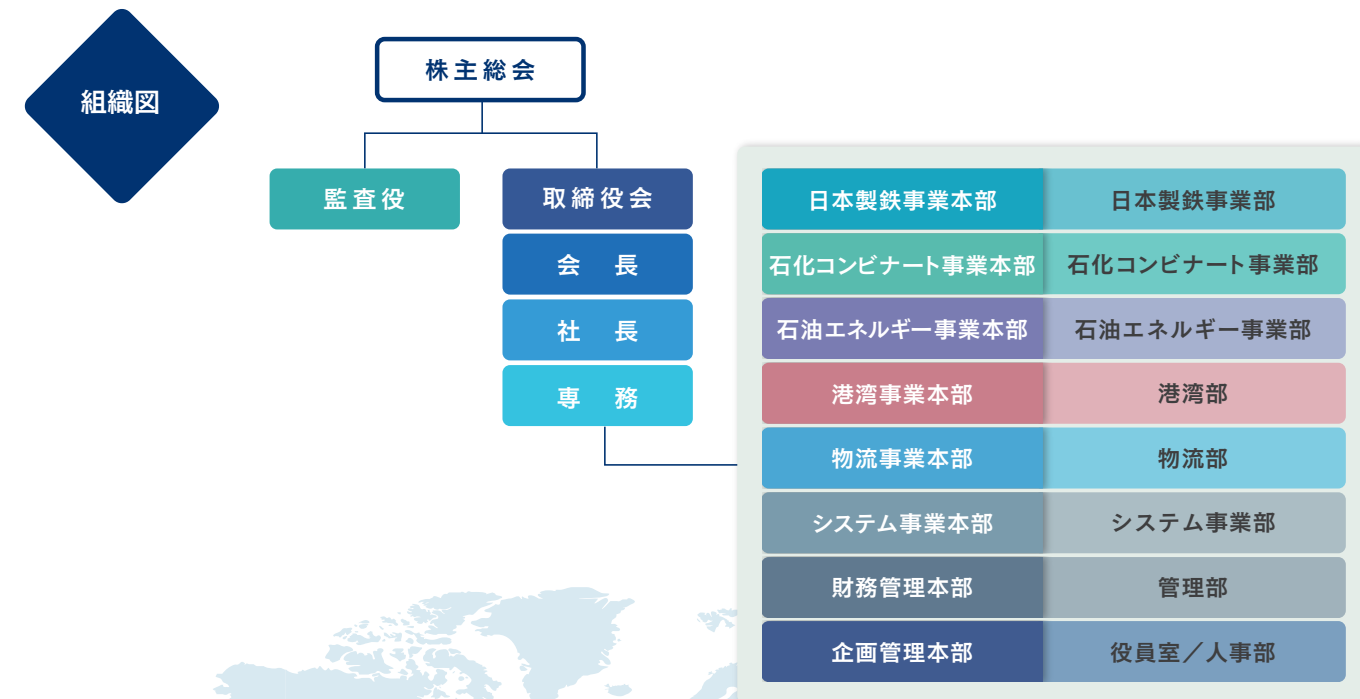
[取引銀行]

(株)大分銀行鶴崎支店
(株)みずほ銀行大分支店
(株)肥後銀行大分支店
(株)北九州銀行大分支店
中小企業金融公庫大分支店
商工組合中央金庫大分支店
大分県信用農業協同組合連合会

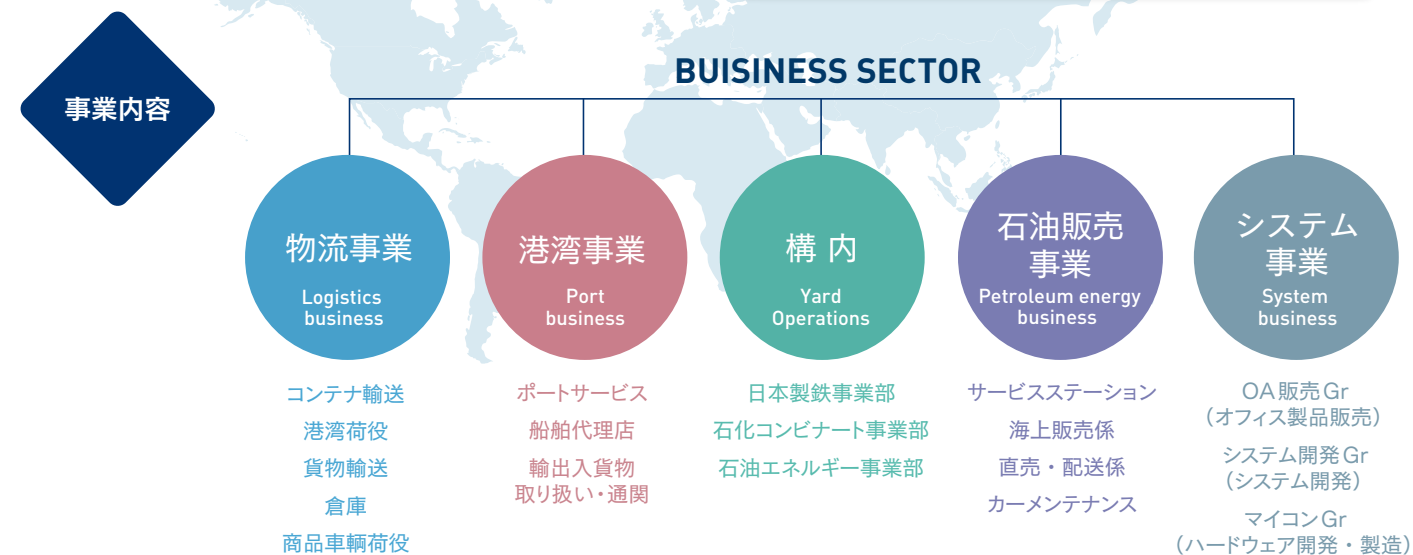
主な営業品目

- 港湾運送事業
- 貨物自動車運送事業
- 自動車運送取扱事業
- 自動車回送事業
- 貸切旅客自動車運送事業
- 通運事業
- 内航海運事業
- 旅客不定期航路事業
- 倉庫業
- 通関業
- 農水産品、機械類及び雑貨の輸出入業
- 船舶代理店業
- 船舶への給油、給水、給食業
- 曳船業
- 海上災害防止事業
- 石油類販売業及び代理販売業
- コンピュータのハードウェア・ソフトウェア及びメカの開発、設計、製造、販売、保守、管理
- 土木・建築・塗装工事請負及び建設資機材の販売、リース業
- 土砂石採取販売業
- 産業廃棄物処理業
- 清掃業
- 次亜塩素酸ソーダの貯蔵及び製造、加工、販売業
- 広告宣伝の企画と代理業務
- 不動産賃貸業
- ミネラルウォーターの製造及び販売
- 毒物劇物一般販売業
- 労働者派遣事業
- オフィス製品・IT関連機器の販売、サービス、サポート
- 石油製品・石炭製品製造業
- 前各号に付帯する一切の業務

組織図



事業内容



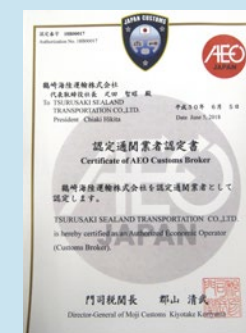
AEO制度における「認定通関業者」の資格を取得

2018年6月5日に門司税関管内において大分県の地場企業として初めてAEO(Authorized Economic Operator)制度における「認定通関業者」の資格取得をしました。お客様のニーズに合わせ、高品質の通関サービスを提供するとともに、認定通関業者としての特例措置により、輸出入通関手続きの時間短縮も可能となっています。今後も国際物流におけるコンプライアンスを強化しながら、高度なセキュリティ体制の構築に努めます。

AEO制度とは

AEO(Authorized Economic Operator)制度とは、国際物流における貨物のセキュリティ管理とコンプライアンスの体制が整備された優良な事業者として税関長が発行する承認・認定制度です。認定業者は、国際貿易における税関手続の緩和・簡素化による輸出入業務迅速化が可能となります。

2001年3月に特例輸入申告制度が導入されて以降、特定輸出申告、特定保税承認、認定通関業者、特定保税運送、認定製造業者の認定制度があります。





物流事業

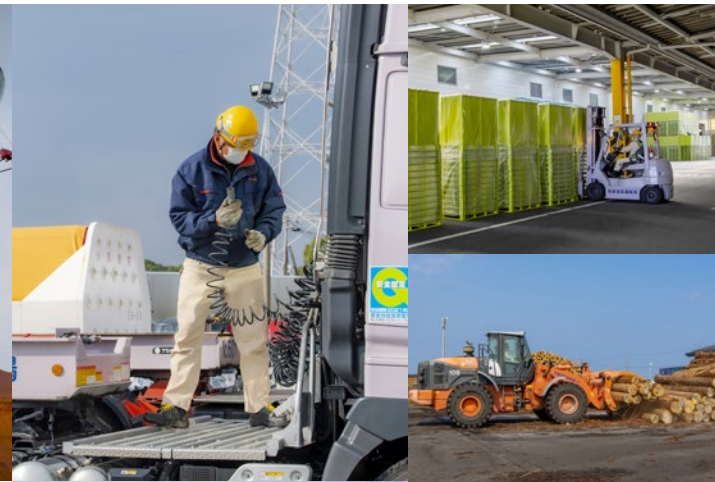
コンテナ輸送
港湾荷役
貨物輸送
倉庫
商品車輛荷役

創業から続く誇りを胸に 安全に日本と世界の物流を繋ぐ

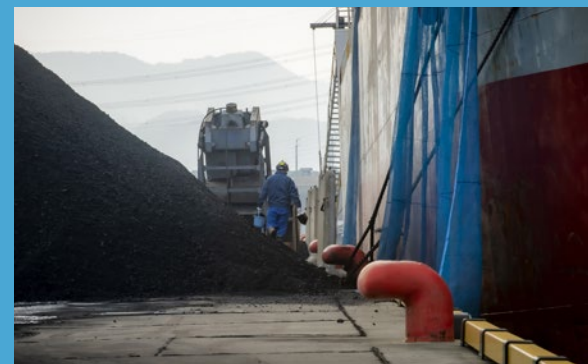
はじめは、大分港に入る船の荷役でした。創業当時扱っていたのは、セメントや原木です。そして時代を経て現在では、石炭や肥料、バイオ燃料の原料や商品車両など、多くのものを取り扱うようになりました。さらに港湾荷役だけに留まらず、コンテナ輸送を専門とする部署、陸上の貨物輸送、そして倉庫など、海と陸の懸け橋となり、大分だけでなく日本と世界の物流を担っていくため、進化する物流や時代の変化へ対応するため、仕事の内容も進化させてきました。

より安全に、より確実に、そして効率的に。

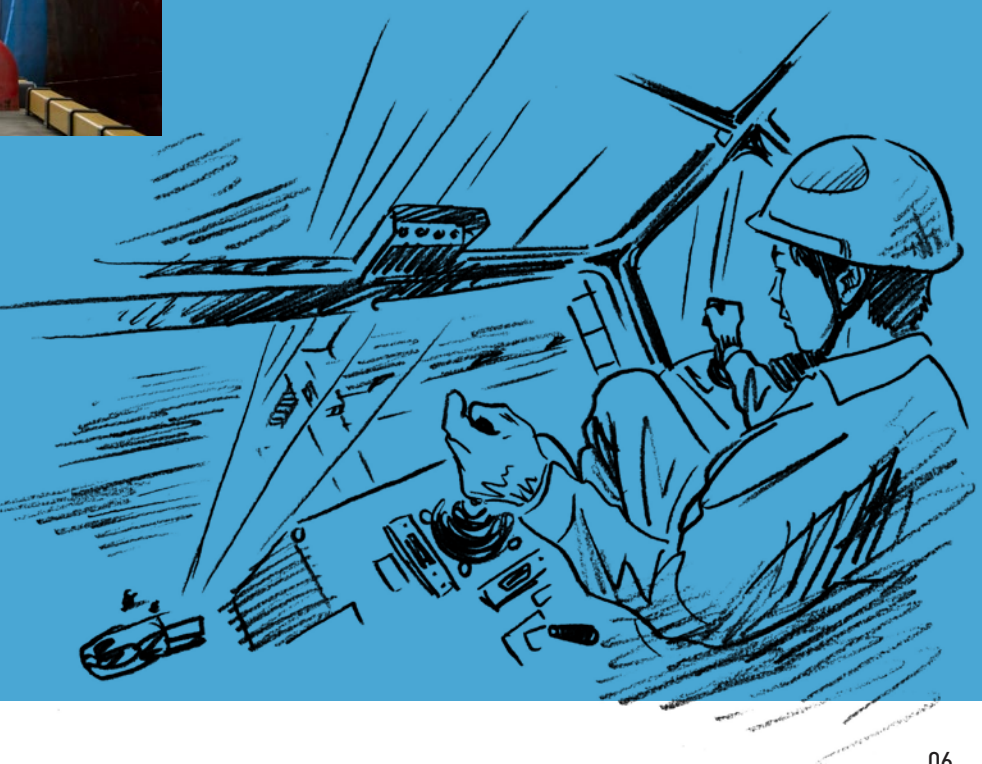
最先端の物流システムに合わせて進化するにはそれぞれの高い専門性が必要となるため、多くのプロフェッショナルを育てるのも私たちの仕事です。例えばコンテナ輸送。船から巨大なコンテナを積み降ろしするガントリークレーンの操縦席は地上32mにあり、運転席からは目視のみとなり、地上スタッフとの無線連絡だけで操縦しなければなりません。この業務には経験と熟練の技術に加え、チームの連携も不



Logistics business



可欠です。怪我をしない、させない。安全を第一に、高い技術を持つ人材の育成に力を入れています。また陸上貨物輸送においても、危険物や高圧ガスなど、運ぶ品物には専門知識や資格が必要となるものが多く、特殊な貨物を安全かつ確実に送り届けることが主な業務です。さらに配送先ではホースを繋ぎ充填作業まで行うこともあり、危険物乙種や高圧ガスの移動監視など必要な資格も多岐に渡ります。運転プラスアルファの専門性を持った乗務員が多く活躍しています。





港湾事業

ポートサービス
船舶代理店
輸出入貨物取り扱い・通関



大分と世界、企業と世界を結ぶ グローバルで手厚いサポート

大分港にはさまざまな外国貿易船が入港します。しかし、船舶の入港に必要な各種官庁への許可手続業務や積載された輸出入貨物の通関業務など、大分港で日々行われているグローバルな業務についてはあまり知られていません。港湾部では、大分港唯一の総合ポートサービス業者となる「ポートサービス課」、大分港での船舶代理店業トップシェアを誇る「海務グループ」、貨物の輸出入に関する業務をトータルでサポートする「輸出入グループ」の3部門で、世界を相手にした幅広いサービスを展開しています。

ポートサービスは24時間体制で海上作業と海上防災業務を担当。日常的に行う大型船の綱取り作業では、熟練の技術が必要です。タグボートやバンカー船の操船には、国家資格である海技免状の取得が必要となります。さらに、船内生活で必要

な食料品や嗜好品などの手配や乗組員の上陸や交代のためのボートやバスによる送迎サービスも提供しています。また万一、工場から油が海上へ流出した際には、オイルフェンスを展開して拡散を防ぎ、回収・処理といった海上防災も実施し、大分港の安全を支えています。

外国貿易船が大分港に寄港する際、入出港の手続きを船長又は船会社の代理として行うのが船舶代理店です。外国船ばかりを相手にすることになるので、英語を主とする語学とコミュニケーション能力は必須。入港のスケジュール調整や各官庁への申請、入港する外国船への届け物や修理の依頼など、船長や船会社からの依頼を受け、船に関連するあらゆる業務の代行を行います。時には、体調を崩した乗組員のために病院を手配し、付き添うことも。中でも多くの時間を費やすのが、外国貿易船と工



Port business

場間の仲介役としてスケジュールを調整することです。外国貿易船が大分港で滞りなく、円滑に作業を実施するために、船の代理人として工場と入念な準備を入港当日まで行います。

県内トップシェアを維持すべく、これからも大分港の船舶代理店のフロントランナーとして、心の通ったサービスを提供していきます。

複雑な手続きや専門性の高い知識が求められる輸出入通関業務。申告や手続きをするためには通関士の資格が必要となります。鶴崎海陸運輸では、通関にかかわる社員のほとんどが国家資格である通関士の資格を保有。お客様のニーズに応じた、最適できめ細かいサービスを提案・提供しています。実際に扱っているのは、製鉄、石油製品・エネルギー関連など大手メーカーの原料や、その原料から製造された製品など、国内の経済活動の基幹を支える貨物の輸出入に直に携わり、日本を代表

するメーカーや商社とも密に連絡を取り合いながら輸出入の業務をサポートできることが、仕事の醍醐味でもあります。実際に外国貿易船に乗り込んで業務を行うことも多く、大分にいながら外国で働いているような経験も重ねられます。ただし、手続きにミスがあれば、工場の操業や船のスケジュールを滞らせてしまう可能性も。ミスが許されない中で、日々緊張感を持って業務に取り組んでいます。



世界と関わる業務をこなすスペシャリストたち

幅広い業務を行う鶴崎海陸運輸。
お客様のサポートやサービス内容に誇りを持ち
常に進化しつづけています。



Shipping agency
business

港湾部
海務グループ

船舶代理店

首藤 紘亨さん

国境を越えたあらゆるオーダーに 親身な対応で応えるエージェント

ホテル勤務から転職しました。実は、求人で初めてこんな職業があると知ったのですが、留学経験があることもあり「大分で英語が使える仕事は少ない」と思い、思い切って飛び込みました。実際に働き始めてみると、想像以上に英語を使う仕事で驚きました。メールでのやり取りは約9割が英語。元々英語はある程度できましたが、最初は専門用語を覚えるのが大変でしたね。入社して7年で、英語力は格段に上がったと思います。

また、圧倒されたのが各所からの問い合わせの多さ。1隻の船に対して、オーナー企業、実際の船、取引する工場や業者など、とにかく関わっている数が多い。それぞれの業者や企業からありとあらゆる問合せがあり、それらを調整してスケジュールを組んだり、人やものの手配をすることが一番大変だと感じています。あまりに多いオーダーの調整をしていると、頭の中でパズルが

組み上がっていくように調整が捗り、ランナーズハイのような状態になることがあるのですが、そんな時はとても達成感がありますね。そのためには要望の内容をしっかりと掴み、企業・工場・船などの特徴も把握して、入念な事前準備が欠かせません。

問い合わせやオーダーは、全世界から届きます。その内容も船の修理から乗組員のケア、食料や日用品の調達まで本当にさまざま。船に関するあらゆる代理業務を受けているので、業界内では「エージェント」とも呼ばれています。業種が違うのはもちろん、年齢も人種も人柄も全く違う人たちと触れ合っているので、対応力も身につきました。この上ないぐらいいろんな経験ができる仕事で、毎日とても充実しています。



INTERVIEW

海外と関わる仕事がしたい！ 憧れの通関士を目指し勉強中

大学生時代に留学生と関わる機会が多く海外でのボランティア経験もあったため、海外と繋がりのある仕事に憧れていました。そんな時、地元大分での就職活動中に弊社の会社説明会で知ったのが「通関業務」です。それまでは全く知らない仕事でしたが「外国貿易船に行ける」と聞いてすごく惹かれ、通関業務や通関士について調べるようになり、就職先としても目指すようになりました。

今年入社し配属されたのが、希望した通関業務を行う部署。多くの先輩社員の方々が通関士の資格を保有しています。働き始めてまだ数カ月ですが、実際に通関士の先輩方のお仕事を見ていると、改めて「ミスができない仕事だな」と実感し、緊張感を持って業務に当たるようにしています。現在は、通関士の試験合格を目指して勉強中。試験は、通関業法、関税法、関税定率法、その他関税に関する法律と幅広く勉強が必要です。

合格率も低く難しい試験ですが、職場で同じく通関士を目指して勉強中の女性の先輩や、先輩通関士の皆さんが優しく教えてくださるので、本当に恵まれた環境で勉強と仕事が両立できています。

先輩に同行させていただき、憧れの外国貿易船にも何度か乗り込みました。実はその時初めて知って驚いたのが、大きな船に乗り込む時は縄梯子を使って登るということ。これが意外と大変で苦労しています。外国貿易船の中で私ができることはまだないのですが、業務されている先輩の姿はやっぱりカッコいい！憧れの通関士に早くなれるよう、試験も仕事もがんばりたいと思っています。



Customs clearance

港湾部
輸出入グループ

通関業務

西原 綾音さん



INTERVIEW



システム事業部
システム開発 Gr システム開発 Tm

システム
エンジニア

川嶋 進司さん

System Engineer

ユーザーの気持ちまで考えながら 使いやすく便利なシステムを一から設計、開発

入社して最初はプログラマーとして開発を勉強します。開発をしながら、システムやデータベースの考え方を理解して、システムエンジニアという役割に変わります。開発のみを担当するプログラマーとは異なり、システムエンジニアはお客様との打ち合わせも大切な仕事です。「どんなことが困っていますか？」と何うことから始まり、問題解決のための提案、設計や開発をしていきます。私は主に社外のお客様を担当していますので、一般企業や工場、小売店などの販売管理や商品管理などのシステムを作ることが多いです。「ミスを少なくしたい」、「作業を効率化したい」などのご相談に、その会社や職場に合わせたシステムを一から作り上げていきます。何度も何度も打ち合わせをして、開発の途中でデモンストレーションをすることもあります。意識しているのは、お客さまの意図と違うものにならないように確認作業を欠かさないこと。手

作業がシステム化されても、そこに心が通ってなければ意味がないと思っています。それだけに、納品後、実際に使っている方から「便利になった。ありがとう」という声を聞かせていただくと、とても達成感がありますね。

使う機器の機種やバージョンも日々更新されていきますので、その管理も重要な仕事の1つです。便利に使い続けていただけるよう、機種やバージョンが進化するとメンテナンスするのはもちろん、自分自身の知識も更新し続けるようにしています。ですから14年目になった今でも覚えることは多く、日々勉強です。ただ、新しいものに携わることができ常に新しいことにチャレンジできるということには、面白さも多いです。これからもチャレンジし続けていきたいと思っています。



構内

日本製鉄事業部
石化コンビナート事業部
石油エネルギー事業部

鶴崎海陸運輸の専門性の高い技術や知識、安全第一の実績は、日本の基幹産業の各企業からも厚い信頼を寄せられています。それは、日本製鉄九州製鉄所大分地区、大分石油化学コンビナート、ENEOS大分製油所、各企業様の構内に専門部署を置き、協力企業として40年以上の歴史を重ねてきたことにも表れています。

大分臨海工業地帯への進出第1号企業である九州石油株式会社(現ENEOS株式会社)の敷地造成にも携わっており、昭和39年に構内作業請負契約を締結し、現在に至っています。産油国からの大型原油タンカーの着離れ作業から、原油の受入まで一連の作業を任されており、入港の際は24時間体制で作業を行います。(船相手の仕事のため天候によっては予定が変更されることもしばしば。)[ENEOSブランド]の各

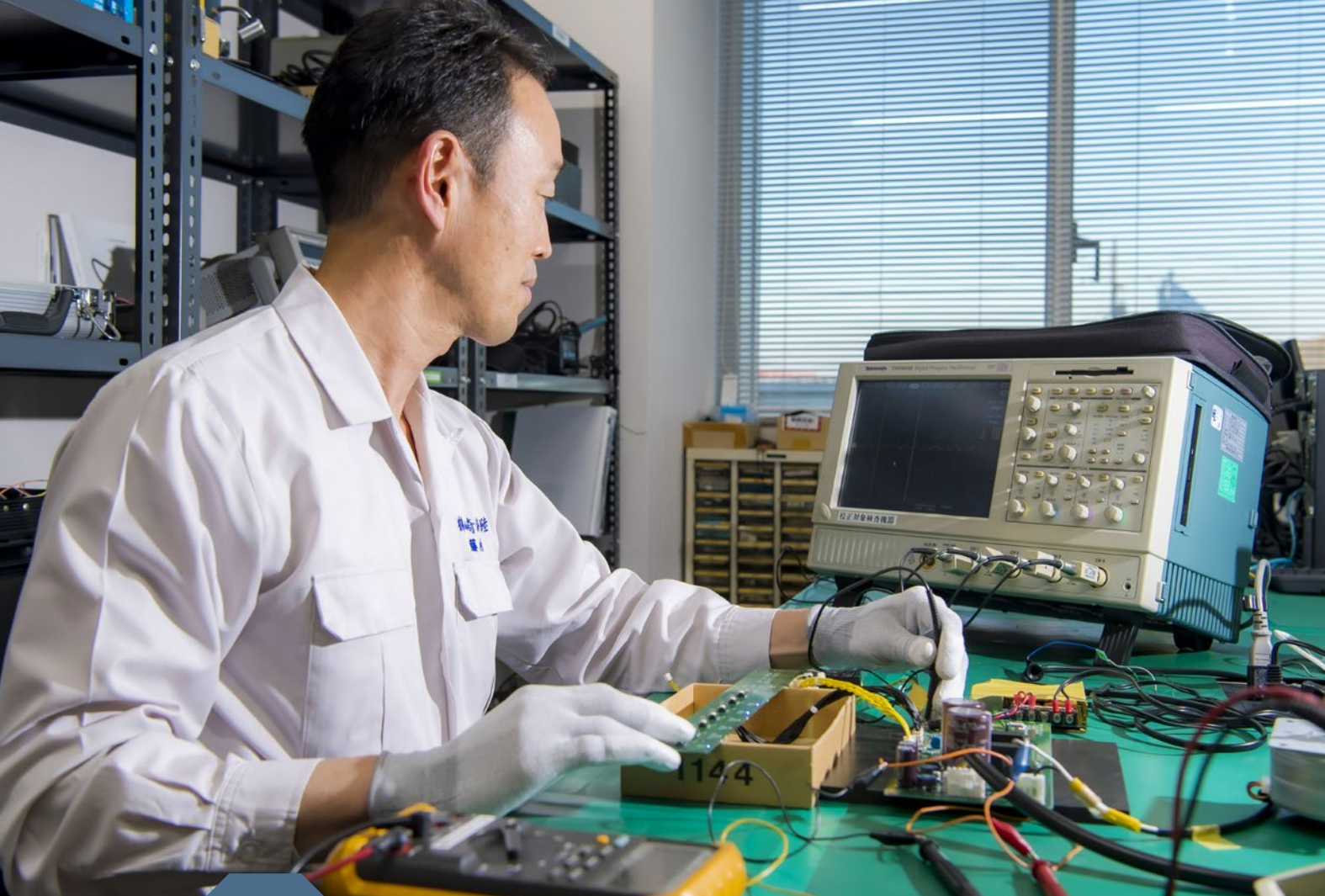
専門性の高い技術と 安全第一の作業で日本の基幹産業を支える

種製品を国内外へ船舶で出荷する荷役作業も一貫して担当。製油所内の貯蔵タンクの点検や設備補修、船舶の周囲に展開するオイルフェンスの補修工事まで幅広く対応していますが、第1に優先するのは安全。部内で団結し、臨機応変に確実な対応を心がけています。

大分コンビナート内では他にも、株式会社レゾナック(旧昭和電工株式会社)などの構成企業各社がナフサを主原料として作った製品の梱包、倉庫管理、出荷作業まで、構内物流を一貫して担当しています。構成企業との信頼関係やその先のユーザーへの貢献、24時間操業の工場をストップさせることがないよう、何よりも安全第一に仕事を続けています。また、内航船の船舶代理店業務や、一部では製造工程も担当。コンビナート内でも実に幅広い業務を担当させていただいているのは、これまでの実績や安全性が認められ、信頼していただいている証。その信頼に応えるためにも、業務の改善や危険予知の活動を定期的を実施し、無事故でより高いレベルの考動力を発揮して、これからも業務に邁進していきます。

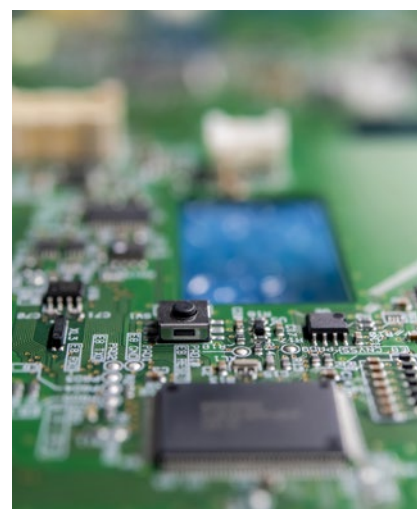
日本製鉄九州製鉄所大分地区が開所した昭和46年には、地場第1号の協力企業として港湾荷役部門を受注。以降、製品の出荷、副産物である硫酸アンモニウムの倉庫管理と出荷、作業に欠かせないクレーンの操縦から管理、メンテナンスまで担当し、専門性の高い知識と技術で業務に当たっています。鉄ですから、製品の大きさや重さも特別です。安全面には特に気をつけて作業し、習熟した知識と技術を持った人材育成にも力を入れています。鉄は自動車やビルなど、現代の社会生活やインフラにも欠かせない材料。そんな社会の根幹を担う業務にたずさわっていることに重みを感じ、作業に当たっています。





システム 事業

OA 販売 Gr
(オフィス製品販売)
システム開発 Gr
(システム開発)
マイコン Gr
(ハードウェア開発・製造)



多種多様なお取引先の要望に応え メンテナンスでしっかり支え続ける

システム事業部は現在、システム開発、OA 販売、マイコンと3つのグループで構成されています。運輸会社でシステムという違和感があるかもしれませんが、実は30年も前から社内のシステム構築を内製していました。当時は「管理部」の中にあった小さな「システム課」でしたが、その後社外のシステム開発も請け負うようになり、大手メーカーの商品開発、OA 機器の販売も行う部署に成長しました。

システム開発グループには複数のSEが在籍し、社外大手企業から小売り店まで、多くの顧客を持つまでに。社内にシステム開発の部署を持ち、「ここをもっと便利にしたい」「安全性を高めたい」という要望にもすぐに答えられることは、物流会社としては強みでもあります。また、自社で培った様々な案件の経験と実績を、社外の一般企業や商店様に活かすことも。要望があれば、



オーダーメイドのソフトウェアや既存のソフトウェアを入れた、お客様専用のパソコンの販売も行います。導入時のレクチャーからその後の保守まで、責任を持って担当しています。

マイコングループでも、国内有数の警備会社のシステム基盤や、大手医療機器メーカーのハードウェア、ソフトウェアの設計を担うまでに。受託開発をしている企業は警備会社や医療機器メーカーですから、誤作動や故障は絶対にあってははいけません。完



System business

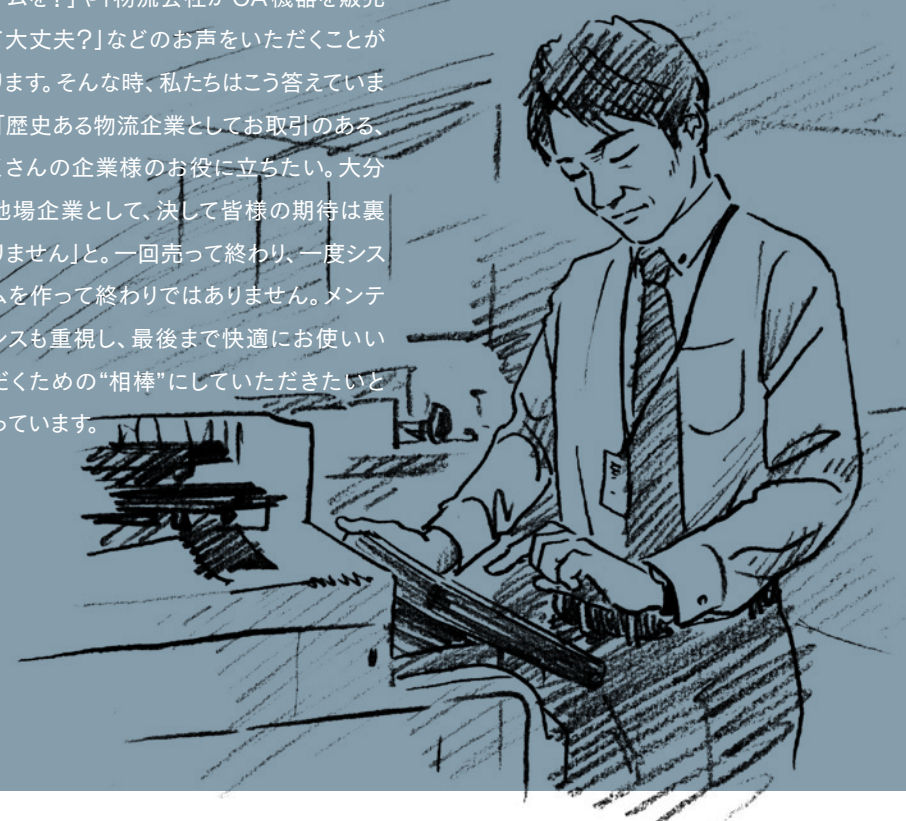
成までに時間もかかり責任も重い仕事ばかりですが「顧客の満足度」に重点を置き、信用を損なわない仕事を続けていきたいと思っています。

大分県にキヤノンさんが進出した際には、依頼を受けてキヤノンの販売代理店となりました。当時はたった1名の営業マンからのスタート。まずは「鶴崎海陸運輸」本社のOA 機器を揃えるところから始まり、次にグループ会社へ、さらにあらゆるジャンルのお取引先企業様へと、販売先を拡大していきました。OA 機器は、アフターメンテナンスも欠かせません。メーカーの認定資格を



持った技術者を擁し、販売だけでなく保守サービスまで責任を持って行っています。

実は現在でも「物流会社なのに、なぜシステムを？」や「物流会社がOA 機器を販売して大丈夫？」などのお声をいただくことがあります。そんな時、私たちはこう答えています。「歴史ある物流企業としてお取引のある、たくさんの企業様のお役に立ちたい。大分の地場企業として、決して皆様への期待は裏切りません」と。一回売って終わり、一度システムを作って終わりではありません。メンテナンスも重視し、最後まで快適にお使いいただくための「相棒」にしていきたいと思っています。





Petroleum energy business

石油販売事業

陸上でも海上でも安全第一 信頼と輸送エネルギーを届ける

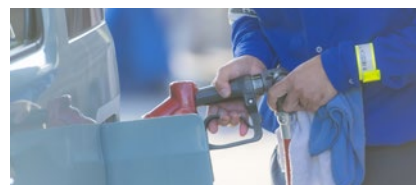
サービスステーション
海上販売係
直売・配送係
カーメンテナンス

石油製品の販売・サービスを陸上と海上の両面から展開しています。

陸上販売では、ENEOS株式会社の特約店として大分市内4店舗でガソリンスタンドを展開。昨今、ガソリンスタンドはセルフ販売が主流になりつつありますが、現在もプロによるフルサービスを実施しています。安全第一の給油はもちろん、タイヤ交換やオイル交換、洗車などお客様の快適なドライブのため、心を込めたサービスを行っています。

海上販売では、大分港に入港する内航船舶を中心に、重油や潤滑油を移送し給油します。2隻ある配給船は、たとえば言うなら海の給油所。船から船への給油を行います。最も大事にしているのは安全に作業すること。特に海上の給油では、少しのミスや石油の漏洩が、海上汚染などの大事故につながってしまいます。海上汚染を起こさないためにも、確実に、安全な作業を第一に心がけています。

日本の生活になくてはならない石油エネルギーの供給を、陸と海から支える。これからも安全を第一に、安心してお任せいただける確実な作業を続けていきます。



TJK活動

取引企業にも認められた 安全と効率化のための自主管理活動



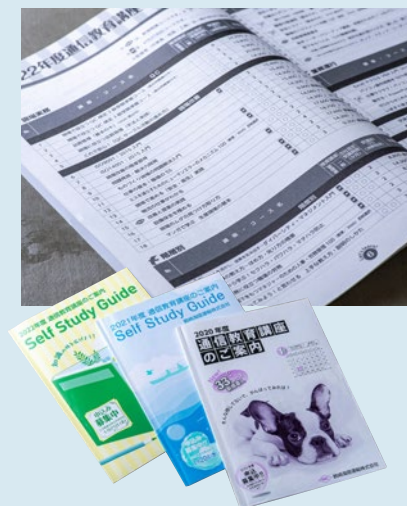
TJK活動とは、鶴崎海陸運輸自主管理活動の略。製造業の作業従事者などが、作業の危険性を予測した上で危険を回避する対策を立て、それを実践する活動を「危険予知活動」と言います。この危険予知も我々の職場では欠かせない活動ですが「自主管理活動」とは「この作業に対してこんな対策を行ったところ、怪我や事故のリスクが減った」など、危険を予知または未然に防ぐための行動計画、経費削減、作業の効率化など、改善を計画するだけでなく、実際に実施して実績を出し、その結果まで示すことが

必要です。毎年、全社で活動成果の発表会が開催され、実績の評価によって表彰も行なっています。発表会によって、他部署でその活動が実践されることも。構内事業を行なっている関係企業にも、その実績や活動の内容が高く評価されています。

創業間もない時期に労使一体となって始めたTJK活動は、今や鶴崎海陸運輸にとってなくてはならない活動になりました。社の体質改善や発展に社員自身が積極的に参加することで、活気のある職場作りにもつながっています。

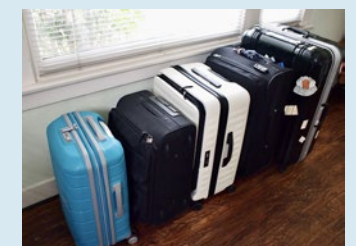
福利厚生

業務に必要な資格はもちろん プライベートの充実も手厚く支援



毎年、鶴崎海陸運輸オリジナルの通信教育講座冊子を作成。資格取得や個人的なスキルアップにつながるものなど、幅広い分野で数多くの講座を用意しています。その中で、業務に必要な資格やメンタルヘルスなど「推奨講座」に認定された講座は、優秀に修了すれば費用は会社が全額負担。ペン字やファイナンシャルプランナー資格、介護の分野など、実際の業務とは関わりのない講座についても費用を半額まで補助するなど、社員の生涯学習やプライベートの充実も応援しています。

また、社員は全員が共済会に加入。県内のレジャー施設や近隣スポーツクラブの優待券を配布するほか、キャンプ用品や旅行用スーツケースのレンタルも行い、多くの社員に活用されています。



地域活動・社内行事

地域社会への貢献が 社内の活気向上や繁栄につながる



鶴崎海陸運輸の経営理念の一つが「豊かな繁栄を実現し、地域社会への貢献を念願する」この精神のもと、地域での活動にも力を入れています。

毎月1日に行っているのが、事業所周辺や産業道路の清掃を行う地域内清掃活動。同時に安全運転の呼びかけを実施するなど、交通安全の啓蒙活動も長く続いています。鶴崎の伝統行事「鶴崎踊り」にも、地元企業として積極的にに関わり、グループ会社とともに例年参加しています。地域スポーツ振興活動への積極的な参加が地域

社会貢献の一つの形と考え、大分トリニータや大分車いすマラソン等、大分のスポーツ振興もサポートしています。また、大分港の発展にも寄与したいと、大分港振興協議会にも参加。大分海洋少年団の事務局も務めています。毎年夏には、本社駐車場で「鶴海納涼祭り」を開催。部署ごとの出展やステージパフォーマンス、豪華賞品が当たる大抽選会など、イベントも盛りだくさん。鶴海グループの社員や家族だけでなく、たくさんの地域住民の皆様にもご参加頂き、楽しんでいただいています。

鶴崎海陸運輸株式会社グループ企業



■ エステイケイテクノロジー 株式会社

大分市大字三佐2468番地10

TEL.097-527-2161 FAX.097-522-3001

主要業務／半導体製造装置事業、半導体テストハウス事業、
メカトロニクス事業、システム開発事業、
保険代理店業、ゴルフ練習場

<http://www.stk-net.co.jp/>



■ 株式会社ホックス

大分県速見郡日出町大字川崎4260番地1

TEL.0977-72-6661 FAX.0977-72-6665

主要業務／コンピュータの開発・製造、医療機器の開発・製造
マイコン応用製品の開発・製造、
ハードウェア、メカトロニクスの開発・製造

<http://www.hoks.co.jp/>



■ 西ノ洲環境株式会社

大分市向原沖1丁目1番63号

TEL.097-573-1110 FAX.097-552-9112

主要業務／産業廃棄物処理業、緑化造園事業、
清掃業・ミネラル飲料水製造・販売(アクアクララ大分)

<http://www.nishikan.co.jp/>



鶴海運輸株式会社

■ 鶴海運輸株式会社

大分市大字大在2番11

TEL.097-592-0116 FAX.097-593-2295

主要業務／貨物運送業、港湾運送業、倉庫業

<http://www.turu-un.jp/>



■ ナカノス建設工業株式会社

大分市大字三佐988番地(鶴崎海陸運輸株式会社 本社ビル1階)

TEL.097-521-5666 FAX.097-521-5671

主要業務／土木・建設一式、設計工事請負、
ナカノスホーム販売、不動産取引

<http://www.nakanosu.jp/>

■ 大分マリンサービス株式会社

大分市大字中ノ洲1-8

主要業務／ポートサービス業、クルーサービス業

＜出資会社＞

大分臨海興業株式会社

株式会社大分国際貿易センター

